

教育委員会定例会会議録

開催日時	令和7年3月27日（木）午前9時00分
開催場所	リバリス1階会議室
出席委員等	委 員 鳴海 良廣 委 員 横井 きよみ
	委 員 金永 俊一 委 員 上西 幸子
	教育長 恵利 修二
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 谷岡潔、専門監 本田敬、課長補佐 広瀬豊、 国スポ推進係長 黒木陽、 学校教育・給食センター係長 稲田宏美

・教育委員会定例会の開催

1 開会のことば

谷岡課長

- ・ただ今から令和7年3月木城町教育委員会定例会を開会します。

2 教育長あいさつ

恵利教育長

- ・あらためましておはようございます。本年度最後の定期的教育委員会になりました。昨日は30度を超え、今日はまたちょっと気温がダウンということで、体調を崩されないようですね、同じく春を乗り切っていただければと思っているところでございます。令和6年度を振り返りますと、特に学校教育の中では、みどりの杜木城学園開校2年目の年を迎えまして、無事、スタートからスムーズに動きが始められた1年ではなかったかと思えます。本格的に教育活動など、新校舎の中で展開できまして、今年度は大きな行事もなくスムーズに正規の1年間と考えたときに、その1年間の行事も滞りなく展開できまして、その成果として、落ち着いた結果を出した子供たちの姿が見て取れる1年間だったのではないかと考えております。宮崎大学の遠藤先生に、2月に研修に来ていただいて、木城の子供たちの学力向上、そして授業の様子を見ていただいて、このように言っておられました。安心できる学校だ。そして皆が背伸びをしたいと思える学校になっているんじゃないかと。それが学力向上でも生徒指導でもすべての面で、成果が表れてきているんじゃないかと仰ってました。その言葉に自信を持って、先生方はまた取り組んでいただいているところでございます。委員の方々には様々な行事にご臨席いただきまして、意見も賜りながら無事、6年度の終わりを迎えようとしています。改めまして感謝申し上げます。ありがとうございます。本年度も、県内外から多くの方に、みどりの杜木城学園視察等来ていただきました。学校経営、特色ある取り組み、また校舎、いろんな見学をしていただいたところであります。来年度も、教育にはいろんなものがあるんですが、義務教育学校の特色を中心に据えながら、教育活動の展開、今の時代に求められている新たな学力向上等を目指していきたいと考えています。先生方も、目指した教育活動をほぼ進められたようでありまして、子供たちの姿にその成長または

成果が現れたものであります。春休みには入りましたが、実質 3 月 31 日までが本年度であります。無事に春休みも穏やかに子供たちが過ごせまして、本年度終わりを迎えられることを願っています。最後になりましたが、うちのこの素晴らしい教育課スタッフ、この全員でこの会を迎えるのも最後になります。本日も、どうぞ忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。この後の総合教育会議もございますので、連続で長時間になります。どうぞよろしくお願いします。

3 議長選出

[恵利教育長に議長をお願いしました。]

4 3 月期定例会会議録署名委員の指名（恵利教育長・金永委員）

5 議題及び議事

(1) 2 月期定例会会議録の承認について（恵利教育長・上西委員）

[事前に送付していた 1 月期定例会の会議録について承認され、委員において署名]

(2) 3 月期臨時会会議録の承認について（恵利教育長・鳴海委員）

(3) 事務局報告事項

①教育長報告

・[3 月行事報告と合わせて報告。]

②行事報告及び行事予定

3 月行事報告)

恵利教育長

- ・ 3 月 3 日（月）市町村駅伝競走大会実行委員会
- ・ 3 月 4 日（火）人事異動に係る異動内申書の提出に関する説明等（押印）
学校給食調理場運営委員会
木城町教育委員会 3 月臨時会
- ・ 3 月 5 日（水）青少年育成町民会議 役員会
- ・ 3 月 6 日（木）みどりの会
- ・ 3 月 7 日（金）令和 7 年第 3 回木城町議会定例会 ※3/18
- ・ 3 月 10 日（月）木城町女性団体連絡協議会総会
- ・ 3 月 12 日（水）令和 6 年度みどりの杜木城学園心の教育人材育成事業
木城学園外構完成記念セレモニー
- ・ 3 月 14 日（木）予算審査特別委員会
内申書手交
- ・ 3 月 16 日（日）みどりの杜木城学園 第 2 回卒業式（受付 8 : 50 まで）
- ・ 3 月 19 日（水）定例課長会議
第 5 回初期研修校外研修
- ・ 3 月 20 日（木）令和 6 年度木城町ウォーキングコースマップお披露目会・ウォーキング大会
- ・ 3 月 21 日（金）福寿大学・中央婦人学級合同閉級式
西都児湯教育長会意見交換会
- ・ 3 月 22 日（土）めばえ保育園卒園式
- ・ 3 月 24 日（月）自治公民館活性化プロジェクト会議
- ・ 3 月 25 日（火）木城町スポーツ協会総会
- ・ 3 月 26 日（水）みどりの杜木城学園 修了日
木城町スポーツ指導者協議会総会
木城町スポーツ少年団総会

- ・ 3月27日（木）木城町教育委員会3月定例会
第3回木城町総合教育会議
辞令手交
- ・ 3月28日（金）管理職（教職員）異動辞令交付式
令和6年度転出等教職員離任式
- ・ 3月29日（土）木城町地域婦人連絡協議会総会
中之又「花見ろ会」

以上でございます。

恵利教育長

- ・ 引き続き、4月の行事予定を課長から説明します。
4月行事予定)

谷岡課長

- ・ 4月1日（火）全体朝礼・木城町職員辞令交付式
めばえ保育園入園式
木城町議会全員協議会
仮）木城町教育委員会4月臨時会
令和7年度転入教職員対面式
- ・ 4月2日（水）県庁等年度初め挨拶表敬訪問
- ・ 4月3日（木）春の全国交通安全運動に伴う木城町交通安全対策協議会
関係機関年度初め挨拶表敬訪問
- ・ 4月4日（金）中部教育事務所あいさつ来訪
令和6年度木城町子ども会育成連絡協議会 総会
- ・ 4月6日（日）木城町戦没者慰霊祭
- ・ 4月8日（火）みどりの杜木城学園1学期始業日
令和7年度木城町スポーツ少年団 結団式
- ・ 4月10日（木）文化財保存調査推進会議
木城町青少年育成町民会議 総会
- ・ 4月11日（金）第3回みどりの杜木城学園入学式（9時までに受付）
- ・ 4月15日（火）さんさんクラブ総会
- ・ 4月16日（水）令和7年度第1回宮崎県GIGAスクール構想推進協議会
- ・ 4月17日（木）令和7年度宮崎県町村教育長会 総会
令和7年度宮崎県市町村教育長連絡協議会 第1回支部長会
令和7年度宮崎県市町村教育長連絡協議会 総会
- ・ 4月18日（金）宮崎県校長会研修会
- ・ 4月20日（日）石井十次の会総会
御大師講祭
- ・ 4月21日（月）スポーツ推進委員委嘱状交付式
児湯学友団コンソーシアム協議会総会
- ・ 4月23日（水）児湯管内教育長会
- ・ 4月24日（木）行政事務連絡員会
自治公民館連絡協議会総会・第1回自治公民館長会
仮）木城町教育委員会4月定例会
文化財保存調査推進会議

4月行事予定については以上です。5月行事予定は参考としてください。

恵利教育長

・3月報告、4月・5月行事予定でした。何かご質問ございますか。

金永委員

・今度は新入生が現在39名ということですね。その中に転入生もいるということだったんですが、転入生は今のところ何人ぐらいですか。

稲田係長

・新入生の中での転入生は2人です。

恵利教育長

・学年が異なるその他の転入生もいらっしゃるんですよ。それは何人ぐらいでしたかね。

稲田係長

・新9年生に1名、8年生に1名、7年生に5名、4年生に1名です。。

金永委員

・ちなみに木城学園を紹介して、募集したときの関係で来る人いますか。

本田専門監

・チラシの配布までは行っていませんが、木城学園の取り組みや地域の良さをアピールしています。それをきっかけでという方も中にはいらっしゃいます。

金永委員

・そういうのが広がっていくといいですね。今度の新入生の中で支援学級の子供はいますか。

本田専門監

・自閉症情緒学級に1名入級です。

金永委員

・学校全体で、不登校数は今現在何人ぐらいになっていますか。

本田専門監

・不登校数を月々で見ますと10名程度いるんですけども、この月はすべて出席しましたという子もおりますので、完全不登校は3名ぐらいの状況です。

金永委員

・その3名の学年わかりますか。

本田専門監

・7年、8年生だったと思います。

金永委員

・その子たちは校内の支援センターの方には来ているんですか。

本田専門監

・支援センターに出席すると出席扱いができますので、随分と不登校数は減ってきているとは思いますが。

金永委員

・わかりましたありがとうございました。先日の卒業式は非常によかったですね、生徒の真剣さが伝わってきましたですね。もう1つ保護者の頑張りがここ数年あると思ったんで自分たちもその教育活動に参画しているんだというその姿勢を、保護者謝辞にも感じました。そこまでおっしゃるということは相当保護者の活動の方も浸透しているなという感じがしたところでした。卒業式としては本当に良かったですね。

恵利教育長

・次に入ります。それでは教育大綱ということについてご説明をさせていただきます。資料はこのカラー刷りと、もう1枚で説明します。教育大綱というのは教育の方向性

を示したバイブルというもののなんですが、木城町の教育の基本理念から、どのようなものを3年間で進めていくかっていうことを、明確に示した方向性のものであります。1ページから説明させていただきます。まちの将来像ということで、第6次木城町総合計画、インクルーシブタウン木城というテーマを掲げて、町の総合計画があります。これを見ますと特にですね、人口減少対策を最重要課題として検討しますというようなことが書いています。まちづくりの中で、テーマでいろんな基本目標が載せられています。この人口減少対策を最重要課題としてどう教育でも進めていくのかっていうことを意識した教育大綱にしていかなくちやいけないんじゃないかなと思ったところなんですが、3年前に見直しをしていますので、大きくそう方向性としてはぶれてないし、若干加味しながらの変更でいいのかなということでも検討しまして、修正を加えたものです。先ほどから説明していますように、義務教育学校を中心にしながら、魅力ある教育を進めていくことが、金永委員からのご質問ありました人口減少、転入する子供たちや家族を増やすことになっていくのではということ、そういう部分も盛り込みながら加筆したところであります。7年度から9年度までの3年間の方向性で推進していきたいと思っております。2ページを開いてください。黄色い線で4つの基本目標が掲げてございます。子供が健やかに育つまち「木城」、調和のとれた人間力を育むまち「木城」、子どもから大人まで学び合い育ち合うまち「木城」、町民一人一人が主役のまち「木城」、は変わりません。(1)①②③④において取り組みを述べております。具体的に説明して参りたいと思います。3ページの基本目標1、子供が健やかに育つまち「木城」というところを、赤文字が加筆した部分です。取り組み2、「地域における子育てや家庭支援の充実」ということで、これは具体的には教育課の施策ではないんですが、教育課と福祉の部分は連動しますので、書き加えた方がいいだろうということで、地域子育て支援センター事業の充実や児童館を中心とした放課後児童クラブ充実を図るとともに、病児病後児保育など保育ニーズに対応した保育サービスの充実及び家庭教育支援ネットワーク整備などを推進しますということを加筆しました。取り組み4は表現を変えたところですが、障害のある児童生徒への対応ということで先ほども金永委員が特別支援の子供たちの質問をされましたけども、これについては充実させ、引き続き取り組んでいこうということでございます。5ページをご覧ください。調和のとれた人間力を育むまち「木城」。(1)確かな学力を育む教育の充実ということで、義務教育学校の特色を生かし9年間の学びの連続性を重視というようなことをまず赤文字で加筆し、「さらに、町の子育て政策と連携し、木城ならではの特色ある教育に関する啓発活動を積極的に推進することで、町内外への魅力発信を強化し、取り組みを推進しなければならないと思っております。次のページをご覧ください。取り組み1ということで、義務教育学校における9年間の一貫した教育の充実ということで、赤文字でこれは今までやってきたことをやはり明確に書き添えようということで教科担任制専科事業の充実を図ります。これは引き続きやります。そして、学びの連続性を生かした教育環境を整え本町ならではの特色ある教育の推進に努めます。特に本町ならではの本校ならではの取り組みが書いてあります。丸の1つ目、基礎的基本的な学力の定着と思考力・判断力・表現力等をバランスよく身につけさせ、主体的に学ぶ態度を育成し、未来を拓く確かな学力の向上を図るということで、学力向上をまず最初に挙げております。具体的には書いておりませんが、学力向上推進委員という方を町雇用として新たに配置し、学力向上の取り組みを推進していくということでもあります。一番下ですね、今までやってきたことを明確にしようということで、異学年交流を計画的に推進し、上学年には模範としての意識やリーダーシップを育む機会を、下学年には、上学年に憧れを抱けるような関りを促す。こうした交流を通じて児童生徒同士の良好な人間関係を築き、安心して学校生活を送ることができる環境

を整えることで、心身ともに健やかに成長できるようにすると「well being」の視点を踏まえた環境の整備ということで、先ほど宮崎大学の先生が、安心して学べる環境、これは建物だけじゃないんです、学力支援もそうなんですが、人的な子供たちの関係性について非常に大事に見ていただいたので、子供たちが素晴らしい9年間、連続の関係性、異学年交流、そういうものを大事にしていきますということを改めてここに書いております。次7ページ。取り組み4「外国語教育の充実」ということで、前期課程からの外国語活動のスムーズな接続を図る。そして一番下、外国語の学習にとどまらず、ネイティブスピーカーとの直接的な交流の機会を計画的に設けることで、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、外国語や外国文化への理解を深め尊重する態度を育むということで、現在ALTの方に来ていただいているんですが、非常にこの方マンパワーがあられて、昼休みも外国語を楽しむ時間を設けられたり、いろんな活動に遊びに積極的に加わられて、身をもって外国の文化を発信していらっしゃる。また修学旅行で東京グローバルゲートウェイという施設を丸1日訪問して、ネイティブな外国語もシャワーのように浴びて、子供たちも外国語で返すというような取り組みをしたり、台湾派遣事業もそうですね。一部の子どもですけども、台湾に行って自分で外国語で発信して交流をする。またALTの方1人ですが、委託企業のALTの方が何人か集まって子供たちとALTの方々の交流をする時間を作ろうじゃないかということ、今学校に企画を投げていますので、実現できるといいかなと思っています。8ページ、「豊かな心やたくましい体を育む教育の充実」ということで、9ページの取り組み2、生徒指導の充実ということで、教育支援センター「アオバトルーム」に指導員を配置し、不登校やその傾向にある子供たちへの対応をそこに書いております。来年度、生徒指導支援推進校の指定を受けました。加配で講師を1人、県からつけていただきましたので、特に項目としては不登校対応ということをやテーマに掲げながら、今までやっていたこの支援センター「アオバトルーム」を中心に取り組みを図っていくということで、西都児湯教育長会議の中でも、木城の支援センターをモデルにして作りたいということもございました。そして次10ページです。「学びを支える教育環境及び支援体制の充実」ということで、10ページの取り組み、修学前教育と学校教育の連携強化ということで、保育園と学園前期課程の円滑な接続と連携を推進しますということで、実は保育園の方にも厚生労働省からも保育園へ、学校との連携を深めなさいってことを言われていて、学校教育の文科省からも、保育園、幼保小連携を進めなさいっていう、各市町村教育委員会への指導もあります。「木城っ子学びや生活のかけ橋プロジェクト」という事業を計画しておりまして、保育園と木城学園の先生方との意見交換とか、授業参観だとか、授業に保育園の子供たちが参加するとかスムーズな連携が図れるとか、小一プロブレムがないようなスムーズな子供たちの移行が図れるような取り組みを推進しますということを謳っています。取り組み2、教職員の指導力の向上を図る研修の充実ということで、大学との連携による研修等の実施や指導力の育成を図るために人材を適切に配置し、その推進に努めるということで、宮崎大学との連携は引き続き図っていきたいと思っています。「学校教育施設及び設備の整備・充実」ということで設備についてはもう完備しましたので、地域に開かれた学校として地域の方々にも積極的に活用していただくように取り組んでいきます。地域の方々の活動を学園でやるということ、子供たちが見ることや、直接触れることはないんですがそういう部分の雰囲気や建物の中で連携していくと良いのかな、見えるようになって良いのかなと思っています。12ページ「子供から大人まで学び合い育ち合うまち「木城」の取り組み4 国民スポーツ大会競技エアロビック競技の準備の推進」ということで、大会準備に向けて組織的な準備を推進、町挙げての気運の向上に努めます。学校教育の中においても、競技内容を体験する機会を設けて、選手の育成や競

技人口の拡大に努めますということで、これも引き続き去年から推進室で準備を計画的に進めて、学校教育の中にも積極的に特にクライミングの中のボルダリング競技を推進しております。12 ページ「文化財の保存・活用及び歴史遺産の調査・保存」ということで取り組み2、本町の歴史文化財の調査・保護・展示・活用のための総合的な計画の立案等を見直しを行い、整備を図っていくということで、高城合戦等を中心にしながら、その計画も含めて、こんなことが行われましたとか、ここでこんな歴史的な事実がありましたとか、それが提示できるような工夫を少しずつでもやっていかなくちゃいけないなと思っております。取り組み3、これは伝統文化、伝統芸能ですね、特に中之又神楽、比木神楽、比木神楽は今後、国の指定を受ける方向で進んでおります。中之又神楽は万博の中で披露されるだろうということでの取り組みがあります。最後15 ページ。町民一人一人が主役のまち「木城」の中のボランティアの育成ということで、今後、中高大学生等の次世代の若者に対するボランティア事業を実施し、地域貢献の意識の育成に努めますということで、一気にはいけないと思うんですが、町の祭りだとか、公民館活動だとか、いろんな子供たち青年の力を生かせる場面があると思うんですけど、そういうところにボランティアを募って、木城のまちの活性化に、またはこのボランティアの意識を育てる意味での取り組みを努めていくということを掲げて取り組んでいきたい。長くなりましたが、今までやってきたことを含めて赤文字で修正しています。もう1枚は基本構想で毎年こういうの作っています。上が教育大綱。この下は、これに取り組んでいます、取り組んでいくんですよという項目の主なものを、ほぼ書き出しています。つまりこれはやりますということの宣言の基本構想です。これは大きくプリントして教育課や学校など、特に職員の人たち、校長先生を含め目につくように、張っていただくようにして、1年間目標にして取り組んでいくという証しであります。教育大綱についての説明でした。7年度から取り組んでいきたいと思えます。何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。

金永委員

- ・今までのこの教育大綱からすると、中身が充実してきたような感じがしますね。読んでいてわかりやすいですね。必要だなというのが盛り込んであるからいいと思います。重みが出てきた感じがして、これを目指して、ぜひ頑張っていただきたいなと思います。

恵利教育長

- ・絵に描いた餅にならないように、それに向けて頑張りたいと思います。委員の皆様方には、追い追い成果なり課題なりを説明していきたいと思えます。よろしかったでしょうか。総合教育会議の中でまた町長等にも説明しますのでよろしくお願いします。それでは、もう1つの説明ということで、令和6年度9年生の高校入試結果について、本田専門監から説明をしてもらいます。

本田専門監

- ・[資料により説明]

推薦入試・一般入試を含め、全員が志願する学校に合格することができました。それぞれの道でそれぞれの花を咲かせてほしいと願っています。

金永委員

- ・皆全員進学ですね。よかったですね。私たちのときの入試状況（推薦入試での合格者も増えていること）からするともうガラッと変わっていますから想像できないですね。社会の流れですね。我々の時はその逆ですね。それから進路先も大分多様化しましたね。なかなか想像できないですけど8、9割高鍋だったですもんね。妻がちょっと他もパラパラってくらいだったんですけども。高鍋がこの位になったんだなと思ってです

ね。ここ数年いつもびっくりしてるんですけど、おそらく今度は高校の方の定員削減になっていくんじゃないでしょうかね。定員満たない学校がいっぱいあるとか、シンポジウムで言っていまいした。削減だなと思ったとこでした。

恵利教育長

- ・本当に子供たちは頑張りました。こういう流れを受けてまた今後、子供たちが自分の夢に向かって頑張ってくれていくと思っているところです。ありがとうございました。

金永委員

- ・今回卒業した生徒たちは、木城小学校入学、小学校卒業、木城町立小中学校入学になるんですかね。そして木城学園卒業になるんですかね。子どもたちの履歴は。学生時代までは関係ないと思うんですけど、就職するときに引かかるかなと思ってですね、やっぱりその正確さとか丁寧さがねちょっと求められて、願書だけではねられるっていうところがあるからしっかりしておいた方がいいかな。丁寧に正確に。変化が激しいときだったから、どの町立学校で入学しどの町立学校で卒業したのか、抑えておいた方が良くないかな。

谷岡課長

- ・今回の卒業生は木城町立木城中学校入学、木城学園卒業ですね。

廣瀬課長補佐

- ・木城中学校1年の時は小中一貫校でしたね。

金永委員

- ・履歴書を書く段階で、しかもそれは就職するときね、大学までは関係ないと思います。我々が聞かれて、答えられる人がないといけないね。何年度卒業ですか。その時はこうでしたねとかですね。

恵利教育長

- ・次回の臨時会、定例会日程について課長から説明をお願いいたします。

谷岡課長

- ・まず臨時会ですが、4月1日火曜日の午後3時からを提案させていただきます。その後に転入教職員対面式もごきますので、この時間帯で提案させていただきたいと思います。それから、次回の定例会につきましては、4月24日木曜日、この日が、行政事務連絡委員会それから自治公民館長会等が午前中にごきます。従いまして、午後1時30分からを予定したいと思います。よろしく願いいたします。
- ・以上をもちまして、令和7年3月木城町教育委員会定例会を終了いたします。

次回臨時会日程

4月1日（火）午後3時00分からリバリス会議室

次回定例会日程

4月24日（木）午後1時30分からリバリス会議室

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

木城町教育委員会

会議録署名委員

教 育 長

恵利 修二

委 員

金永 俊一